大切な家と家族を守るために

薪ストーブの火災予防対策



薪ストーブは、正しく使えばとても暖かく
快適な冬を過ごせる優れた暖房器具です。
しかし、使い方を誤ると火災の原因になることもあります。
火災を防ぐために、次のポイントをしっかり確認しましょう。

① 周囲の可燃物を近づけない

ストーブの周囲や煙突の近くに、
カーテン・家具・新聞紙・木材など
燃えやすいものを置かないようにしましょう。



② 煙突・排気口を定期的に点検・清掃

煙突に「ヌス」や「タール」がたまると、
煙の詰まりや火災の原因になります。
専門業者による定期的な点検・清掃を
行いましょう。



③ 正しい燃料を使う

薪は、よく乾燥した広葉樹を使用
しましょう。湿った薪や、塩宝粋の、
燃料(ごみ・プラスチック・塗装木材など)
は、火災や煙の原因になります。


よく乾燥した広葉樹


ごみ・プラスチック
塗装木材など

④ 使用中は常に注意する

薪の追加や火力調整の際は、
火の粉の飛び散りや煙の状態に注意し、
その場を離れないようにしましょう。



ちょっとした注意で、火災は防げます。
今一度、身の回りを確認しましょう!

さらに気をつけたいポイント

5 周囲の換気を行う

薪ストーブの燃焼には十分な空気が必要です。室内の空気がこもらないよう、定期的に換気を行いましょう。



6 住宅用火災警報器を設置する

万が一の火災の早期発見に役立ちます。薪ストーブのある部屋や、煙が通る場所には必ず設置しましょう。



7 定期的にメンテナンスを行う

薪ストーブ本体やガスケット(耐熱パッキン)の劣化、部品の緩みなどを定期的に確認し、必要に応じて交換・修理を行いましょう。



火災予防 チェックリスト

定期的に確認し、安心・安全に薪ストーブを使いましょう。

- ☐ ストーブの周囲に燃えやすいものを置いていないか
- ☐ 煙突・排気口の点検・清掃を行っているか
- ☐ 使用する薪はよく乾燥した広葉樹か
- ☐ 燃料にごみ・プラスチック・塗装木材などを使っていないか
- ☐ 火のそばを離れないようにしているか
- ☐ 室内の換気を定期的に行っているか
- ☐ 住宅用火災警報器を設置しているか
- ☐ 本体や部品の点検・メンテナンスを行っているか



お問い合わせ先
八幡平消防署　安代出張所
☎ 0195-72-2119

火災の予防・点検・メンテナンスについてのご相談はお気軽にお問い合わせください。